

日本図書館情報学会会報

No. 137

2010年4月

日本図書館情報学会事務局

〒305-8550 茨城県つくば市春日 1-2

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 内

E-mail: jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

学会ホームページ: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>

ゆうちょ銀行 口座番号 00160-5-0045759 (口座名義=日本図書館情報学会)

2010年日本図書館情報学会春季研究集会 (ご案内)

会員各位

日本図書館情報学会会長
根本 彰

2010年春季研究集会を、同志社大学 今出川校地 新町キャンパスにおいて、下記の要領で開催いたします。会員の皆様には奮ってご参加くださいますよう、宜しく願いいたします。

参加を希望される方は、春季研究集会事務局宛に、所定の期日までにお申込みくださいますよう、お願いいたします。

記

日時：2010年5月29日(土) 9:10~17:40

場所：同志社大学 今出川校地 (新町キャンパス)

http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_access.html

住所：〒602-0047 京都市上京区新町通今出川上ル

最寄り駅：京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅から徒歩5分

京阪電車「出町柳」駅から徒歩20分

参加費：正会員 2,000円、学生会員 1,000円、非会員 3,000円

申込締切：2010年5月14日(金)

参加申込：下記の事務局まで、「氏名」、「氏名のよみ」、「所属」、「連絡先(住所、電話番号、電子メールアドレス)」を明記の上、電子メール、もしくは、郵送にて、お申し込みください。電子メールの際は、件名に「【参加申込】」とお書きください。

申込先：

〒602-0047 京都府京都市上京区新町通今出川上ル

同志社大学社会学部 中村百合子研究室内

日本図書館情報学会春季研究集会事務局

電子メールアドレス：jslis2010spring@gmail.com

※なお、「氏名」、「所属」については、当日配布する「研究集会参加者名簿」に記載させていただく予定です。記載に不都合がおありの際は、その旨お知らせくださいますよう、宜しく願いいたします。

○「参加募集要項」、「発表要旨」については、下記のアドレスにて、ご覧いただくことができます。

http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/events_1.html

開始時刻	第一会場	第二会場
9:10～	開会式	
9:20-9:50	須賀千絵（慶應義塾大学） ローカルガバナンスの時代における英国の自治体の公共図書館行政：地域戦略パートナーシップと地域協定の影響	清川朝日（筑波大学），鈴木崇史（国立情報学研究所），芳鐘冬樹（筑波大学） 学際的研究領域の論文における引用パターンの変化
9:50-10:20	池内淳・歳森敦（筑波大学） 公立図書館の諸属性に対する市民の選好意識とその経済価値の測定に関する研究	山内隆文（名古屋学院大学学術情報センター） 人物情報における被伝者と伝者：人物書誌20万件の量的分析より
10:20-10:50	小泉公乃（慶應義塾大学） 図書館の組織形態と業務の変遷：国立国会図書館の「組織規程」と「事務分掌内規」の分析	荒井俊介・辻慶太（筑波大学） ブログやtwitterに書かれた疑問を収集・提供するウェブサイトの構築：レファレンスサービスのアウトリーチに向けて
10:50-11:00	休憩	
11:00-11:30	間部豊（北陸学院大学短期大学部），小田光宏（青山学院大学） レファレンス質問への回答を可能にしたレファレンスブックの特性に関する研究	宮田洋輔（慶應義塾大学），安形輝（亜細亜大学），池内淳（筑波大学），石田栄美（駿河台大学），上田修一（慶應義塾大学） 学術論文PDFの自動判定：学習用集合が判定性能に与える影響
11:30-12:00	小田光宏（青山学院大学） 成果共有型ネットワークを活用したレファレンス研修プログラムの有効性に関する研究	谷口祥一（筑波大学），上田修一（慶應義塾大学），横山幸雄（国立国会図書館），鴫田拓哉（筑波大学），向當麻衣子・宮田洋輔（慶應義塾大学） OPACのFRBR化を目指した人手による著作同定作業：FRBR研究会の取り組み
12:00-12:30	石原眞理（神奈川県立図書館） レファレンス・サービスの構造化：図書館職員と非営利分野のヒューマンサービス従事者へのインタビュー調査結果を基に	松本聖・谷口祥一（筑波大学） NDC Finder：自由語からの主題検索機能を提供する図書館OPAC検索支援システム
12:30-13:30	昼休み	
13:30-14:00	矢代寿寛（総合研究大学院大学），宮澤彰（国立情報学研究所） 美術館・博物館の図書室類型化と業務モデル化	安形輝（亜細亜大学） 図書館の遠隔利用者に関する調査手法の比較：国立国会図書館ウェブサイト事例として
14:00-14:30	野村知子（久留米大学） わが国の出版者の「著作権」認識における紙型の意義	安蒜孝政（筑波大学），市村光広（NTT東日本），佐藤翔（筑波大学），寺井仁（東京電機大学），松村敦・宇陀則彦・逸村裕（筑波大学） 図書館における情報探索行動
14:30-15:00	鳥澤孝之（筑波大学） 図書館の映画ビデオ・DVD利用と著作権	杉江典子（駿河台大学） 図書館利用者の情報探索行動：RFIDを用いた調査手法の利用可能性
15:00-15:30	近藤友子（大阪市立大学） 点字図書館を中心とした録音図書ネットワーク配信システムの動きについての一考察	伴周一・大久保尚紀・岡田悟志（日本大学），豊田陽己（日本大学短期大学部） 図書館所蔵希少書籍に対応した書籍デジタルアーカイブ作成用撮影装置の研究開発

15:30-15:40	休憩	
15:40-16:10	木幡智子（愛知淑徳大学） 生涯学習社会における公共図書館と学校図書館の役割	鞆谷純一（大阪市立大学） 京都帝国大学の略奪図書
16:10-16:40	岩崎れい（京都ノートルダム女子大学） 国語科教育における読書の位置づけの変遷	塩見橘子（立命館大学） 国立大学法人の中期目標期間の評価における附属図書館の評価：大規模大学の附属図書館の事例
16:40-17:10	ユンユラ（筑波大学） 韓国と日本における学校図書館担当者養成の現状：読書教育科目を中心に	上野芳重（大阪市立大学） 日米の法科大学院評価における図書館基準
17:10-17:40	桑田てるみ（国士舘大学），庭井史絵（慶應義塾普通部），眞田章子（かえつ有明中・高等学校），野村愛子（田園調布学園中等部・高等部） 探究型学習において「グラフィック・オーガナイザー」を利用する効果とその課題	天野絵里子（同志社大学） 大学図書館員が辞めたいと思うとき：ストレス要因と職務態度の世代間分析

*所属の表示は、教職員（常勤／非常勤）・院生・学部生等を問わず、「機関名」（「大学」等）のみとしてあります。

研究助成金の公募

本学会では、図書館情報学振興のために、会員が自発的に計画した研究調査の遂行ならびにその結果の取りまとめに要する経費の一部を助成する事業を実施しています。今年度は次の要領で募集を行います。ふるってご応募ください。

記

1. 助成額

総額 10 万円を限度として、1 件ないし 2 件に交付予定。

2. 応募条件

- a. 本学会の個人会員が、個人もしくはグループで行う研究であること。ただし、グループ研究の場合、研究代表者が個人会員であれば、研究分担者が会員である必要はない。なお、科研費等の公的研究助成の取得が難しい場合を配慮するので、例えば「大学院生であるため科研費の応募資格がない」などの事情があれば、申込書の所定欄に記入すること。
- b. 2011 年 3 月末までに研究を終了させていること。
- c. 2011 年 3 月 31 日までに所定の用紙によって「研究成果報告書」および「会計報告書」を提出すること。ただし、領収書の提出は不要である。
- d. 研究終了後 3 年以内（2014 年 3 月まで）に『日本図書館情報学会誌』に原著論文として投稿すること。

3. 選考

「研究費助成申込書」に基づいて研究委員会が選考する。結果は応募者に直接通知するとともに、会報に掲載する。

4. 応募方法

別紙「2010 年度図書館情報学会研究費助成申込書」に必要事項を記入の上、下記の宛先に郵便または電子メールで送付すること。申込書は学会ホームページから MS-Word ファイルおよび PDF ファイルで入手可能である。電子メールの場合は、添付ファイルで送付すること。電子ファイルでの提出が望ましい。

《郵送先》

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

慶應義塾大学文学部 岸田和明 気付

日本図書館情報学会研究委員会

《電子メール》 kishida@slis.keio.ac.jp

《学会ホームページ》 http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/aboutjslis_3.html

5. 応募締切

2010年6月1日（火）必着

研究会のおしらせ

研究会「あなたも図書館情報学検定試験をやってみませんか」

日時：2010年5月8日（土曜日）午前10時から正午

会場：日本図書館協会会館2階研修室（〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14）

後援：日本図書館協会図書館学教育部会、（財）図書館振興財団

図書館情報学検定試験の準備が始まって4年目の今年の秋、初めて公開制で準備試験を実施します。この研究会は、参加者（主として図書館情報学教育に携わっている方々を想定）に実際に問題を解いてもらう体験を通じて検定試験についての理解を深めていただき、相互に意見交換を行うことを目的とします。

プログラム（予定）：

10:00～10:05 開会挨拶

10:05～10:35 図書館情報学検定試験準備試験を実施して（仮題）（根本彰会長）

10:35～10:50 模擬試験

10:50～12:00 問題解説・討議

参加費：無料

参加申込：jsliskentei★gmail.com まで、お名前、ご所属、連絡先を明記のうえお申し込みください。

（実際にメールを送信する際は、星印を@（半角）に置き換えてください。）

本件の問い合わせ先：竹内比呂也（図書館情報学検定試験実施検討委員会委員長／千葉大学）

2010年度 日本図書館情報学会研究費助成申込書

年 月 日提出

研究代表者	ふりがな 氏名	所属		会員種別 正会員 学生会員			
連絡先	〒 ----- TEL FAX E-mail						
研究分担者 (共同研究の場合のみ、研究代表者以外を記入すること)	ふりがな 氏名	所属	役割分担 (研究の実施計画に対する分担事項等を具体的に記入してください。)				
研究題目							
申請金額	円 (限度額 10 万円)						
内訳 (円)	資料購入費	機器購入費	印刷複写費	旅費	消耗品費	謝金	その他
研究の目的 (この研究助成を希望することによって、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。)							

研究の意義 (この研究の学術的な特色・独創性および期待される成果等について、具体的に記入してください。)

研究の実施計画

(研究目的を達成するための計画・方法について、①これまでの準備状況②本研究助成金との関連性、の二点を含めて具体的に記入してください。)

研究成果の発表時期 (方法)

特記事項 (※例えば「大学院生であるため科研費の応募資格がない」等、この助成が必要な特別の事情などがあれば、記入してください)

学会賞及び学会奨励賞候補の募集

2010年度の日本図書館情報学会賞及び奨励賞の候補を下記のとおり、募集します。会員各位からの応募もしくは推薦をお願いいたします。

記

1. 賞の種類

- (1) 日本図書館情報学会賞ならびに副賞賞金
- (2) 日本図書館情報学会奨励賞ならびに副賞賞金

2. 選考対象者

- (1) 日本図書館情報学会賞 本学会の正会員
- (2) 日本図書館情報学会奨励賞 本学会の正会員・学生会員

3. 選考対象業績

(1) 日本図書館情報学会賞

正会員によって2008年度もしくは2009年度に日本語もしくは英語で発表された図書および論文

(2) 日本図書館情報学会奨励賞

- a. 『日本図書館情報学会誌』第55巻第2号から第56巻第1号までに掲載された、本学会正会員もしくは学生会員による論文。
- b. その他の研究業績については、学会賞に準じ、本学会正会員により推薦されたもの。

4. 選考

学会賞選考委員会において審査し、理事会の承認を得て決定する。

5. 授賞

2010年度臨時総会において授賞式を行う。

6. 応募・推薦方法

以下の事項を記載した「学会賞(奨励賞) 応募(推薦)用紙」(所定の書式はないが、A4判横書きが望ましい)を7月15日(木)までに必着で郵送すること。なお、応募者・推薦者は非公開とする。

- a. 著者名
- b. 著作名(書名, 論題名, 等)
- c. 出版社/収録雑誌名・巻・号・頁
- d. 応募(推薦)者連絡先
- e. 応募・推薦理由

7. 郵送先: 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学文学部 糸賀雅児 気付
日本図書館情報学会賞選考委員会

各委員会・事務局から

『日本図書館情報学会誌』投稿先について

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下の通りです。投稿は随時受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」と「執筆要綱」をご参照下さい。

2009年度までの会費納入のお願い

2009年度までの会費未納の方は、すみやかに会費を納入ください。
下記、振り込み先まで、振り込みください。

【振り込み先】 ゆうちょ銀行 口座番号 00160-5-0045759（口座名義＝日本図書館情報学会）

会員情報の変更について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス、会員種別等の変更については、学会ウェブサイトの「会員情報変更申請書」（下記 URL からダウンロード可能）にご記入いただき、事務局までメールでお送りください。

会員情報変更申請書について：http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/membership_3.html

会員情報に関する問い合わせ先：jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp

退会について

退会については特に書式はございませんので、メールもしくは郵送にてご連絡ください。2009 年度末の退会届け出は、2010 年 5 月 31 日が締め切りです。2009 年度までの会費はお支払いください。

メールマガジンについて

総務委員会では、メールマガジンを発行しています。本学会、ならびに、他団体等からのお知らせのうち、速報性が重視されるものや、会報でご案内できないものを主な内容とし、随時発行しています。掲載・講読希望の方は、jslis-info@slis.tsukuba.ac.jp まで電子メールにて、ご連絡ください。

事務局受領資料について

- ・二村健監修『図書館のヒミツ』すずき出版、2010 年 1 月（めざせ！キッズ・ライブラリアン 1）
 - ・松林正己『【続】図書館はだれのものか：図書館の未来を求めて』風媒社、2010 年 3 月（中部大学ブックシリーズ：アクタ 13）
- ※会員の皆様が図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局まで 1 部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定、ならびに、学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

関連行事のお知らせ

情報メディア学会第 9 回研究大会のお知らせ

情報メディア学会では「ナビゲータとしての情報コンシェルジュ：個別のニーズに合わせた情報提供」を基調テーマにして下記の要項で第 9 回研究大会を開催します。参加希望者は、下記によりお申し込み下さい。非会員の参加も歓迎いたします。

■基調テーマ：ナビゲータとしての情報コンシェルジュー個別のニーズに合わせた情報提供ー

■日時：2010 年（平成 22 年）7 月 3 日（土）10:00～17:30

■会場：東京大学 山上会館（〒113-8654 文京区本郷 7-3-1）

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

■基調講演： 稲永健太郎氏（九州産業大学）

■シンポジウム：図書館、ホテル、システム業界からご登壇頂く予定です。

■参加費：会員 2,000 円、非会員 3,000 円、学生 1,000 円

※ 会費には交流会参加費、資料代を含みます。

■参加申し込み：

氏名、所属、電子メールアドレスを明記して、2010 年 6 月 28 日（月）までに、電子メール（または

郵便、FAX) で本会事務局までお申込み下さい(当日受付も行いますが準備の関係上なるべく事前申込をお願いいたします)。

■申し込み先・問い合わせ先:

[電子メール] office@jsims.jp

[郵便] 〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2
筑波大学大学院図書館情報メディア研究科内
情報メディア学会事務局

[FAX] 020-4665-4761

※最新情報は、学会ウェブサイト<<http://www.jsims.jp/>>をご覧ください。

お し ら せ

平成23年度採用分特別研究員の募集

独立行政法人日本学術振興会では「特別研究員」および「特別研究員 RPD—出産・育児による研究中断者への復帰支援フェローシップ—」を公募しています。募集要項及び申請書様式は下記のウェブサイトをご覧ください。<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>